

瀬戸内海の低栄養化と豊かな海

■ 趣 旨

今、瀬戸内海ではノリの不作、漁獲量の低迷といった問題が生じている。漁業者の言葉を借りれば海が痩せており、「きれいな海」ではなく「豊かな海」が求められている。ノリは植物であり、栄養塩を直接吸収して生長するので、その不作原因は栄養塩濃度の低下である事は疑う余地も無い。また、水質データ解析の結果から、栄養塩濃度の低下の事実は明らかである。しかしながら、近年のイワシ類などの魚類の不漁等については、その原因が明らかではない。即ち、栄養塩濃度も漁獲量も低下していることが指摘されているが、その生物量を決定する要因として餌生物量の変化や生育環境変化などが考えられ、栄養塩濃度の低下がダイレクトに漁獲量低下に結びついているわけではない。

現在、瀬戸内海の栄養塩濃度の低下の事実は明らかで、そのために、植物プランクトン量が低下し、さらに魚類の餌となる動物プランクトン量にも何らかの影響を及ぼすことが予想はできるが、実際にそれを示すデータは揃っていない。また、豊かな海は、単に水質だけで決まるものではなく、浅場の機能回復や人工護岸への配慮等も必要である。更に、「豊かな海」とは水産業だけでなく市民にとっても、癒しあるいはレクリエーションの場として活用されなければならない。

そこで、これまでに明らかになった事実と、未だ確証を得られていない現実を正しく理解するとともに、海を一番身近で観ている漁業者に発言して頂きながら、「豊かな海」実現に向けて今後どのような検討が必要なのかを議論したい。

■ 日 時

平成27年11月30日（月） 13:30～16:45

■ 場 所

三宮研修センター 神戸市中央区八幡通4丁目2-12 FRⅡビル (TEL 078-232-0081)

■ 主催・後援

主 催 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

後 援 瀬戸内海環境保全知事・市長会議、ひょうご環境保全連絡会、
公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

■ 定員・参加方法等

定 員：100名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）

参加費：無料

11月20日（金）までに、裏面の参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、Eメールにて、事務局までお申込下さい。（参加証等は発行しませんので、お申込のうえ当日会場へお越し下さい。）

■ お申込・お問い合わせ先

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館5階

（公社）瀬戸内海環境保全協会内（担当：矢内）

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730

Eメール：web@seto.or.jp

プログラム、参加申込書は裏面にあります。



【アクセス】

- ・JR 三ノ宮駅中央改札口からフラワーロードを南へ徒歩5分
- ・地下鉄、阪急、阪神「三宮」徒歩5分

会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

プログラム

■ 開会あいさつ 13:30~13:40
柳 哲雄（九州大学名誉教授、瀬戸内海研究会議理事長）

■ 講演 13:40~16:10
(1) 瀬戸内海が豊かになるために
戎本 裕明（明石浦漁業協同組合 代表理事組合長）

(2) 漁業生産の推移から見た今後の対策の方向性
反田 實（兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター 技術参与）

----- 休 憩 （14:50~15:00） -----

(3) きれいな海から豊かな海へ
山本 民次（広島大学大学院生物圏科学研究科 教授）

(4) 瀬戸内海的环境と制度の現況から見た今後の方向性
松田 治（広島大学名誉教授）

■ 総合討論 16:10~16:45
コーディネーター：多田 邦尚（香川大学農学部教授）

平成27年度瀬戸内海研究会議 瀬戸内海的环境保全・創造研究ワークショップ

参加申込書 (FAX 078-241-7730)

日時：平成27年11月30日（月）

場所：三宮研修センター10階会議室

（参加証は発行しません。定員を超えた場合のみご連絡いたします。）

所 属	フリ 氏 名 ガナ	住 所	TEL & FAX

ご提出頂いた個人情報は本事業の目的以外には利用しません。